



美しい歌声を響かせる神戸市立桂木小学校合唱団の子どもたち

追悼の夕べ

阪神・淡路大震災19年 児童・生徒、教職員

阪神・淡路大震災から19年目となる1月17日、兵教組はラッセホールで「追悼の夕べ」を開催した。ご遺族や関係者ら約270人が参加し、亡くなられた児童・生徒、教職員の方々のご冥福をお祈りするとともに、震災から学んだ経験や教訓をこれからの社会づくり、教育改革のとりにくみに生かす決意を新たにしました。全員で黙祷を捧げた後、兵教組の泉雄一郎執行委員長と、県教委の高井芳朗教育長が「1・17への思い」を述べた。(要旨掲載)

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合代表者 雄一郎
編集人 池田啓子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2014/2・1

No. 1852

2面

・阪神・淡路大震災、東日本大震災の
・関連調査及び座談会
・支部だより(豊岡支部)



「追悼の夕べ」は、震災後10年目までおこなった「追悼式」に続き、11年目から教職員や子どもたちによる手づくりのメモリアルコンサートとして開かれている。

神戸市立桂木小学校合唱団は追悼の歌として、「しあわせ運べるように」他4曲を歌った。また、神戸市立鹿の子台小学校に勤務する小林久美子さんと竹下篤子さんは、フルート独奏とピアノ連弾を披露。小林さんは「1・17について、「子どもが集まれる学校や教室があることに心から感謝する日」と思いを述べた。



また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

志半ばにして犠牲になられたみなさんのご冥福を心からお祈りするとともに、ご遺族の皆様が改めて心からのお見舞いを申し上げます。この一年間の私たちのとりくみをご報告し、御霊に捧げたい。

また、兵教組は「福島県震災遺児奨学金」への支援カンパや、東日本の被災地から兵庫県内の小・中学校、特別支援学校に転入している子どもたちに「図書カード」を贈るとりくみも続けている。同様に、日本教育公務員弘済会兵庫支部も、義援・奨学給付金を贈る事業を継続。さらに、兵庫県学校厚生会グループは、生協活動の売上の一部を「桃・柿育英会 東日本大震災 遺児育英資金」に寄託するとりくみを継続している。

子どもたちに「生きる力」を育む教育実践の深化・発展と、教職員や子どもたちの支援に、引き続き努力することを誓う。

また、このラッセホールにおいて、日教組のシンクタンクである国民教育文化総合研究所(教育総研)の主催で「東日本大震災・原発災害と学校の検証」と題する座談会が開催された。兵庫県の教職員も、阪神・淡路大震災以降とりくんできた実践をもとに発言した。私たちは、「1・17」と「3・11」をつなぐ意味からも、教育総研のこうしたとりくみに協力していく。

改めて原点に立ち返り、東日本大震災の教育復興への支援や、この先起こる災害への対応など、新たな課題に対応しつつ、子どもたちの命を守り、共生の心を育む兵庫の防災教育を一層発展・充実させていくことが、犠牲となられた方々に対する私たちの責務だと考えている。

1・17への思い

兵教組 泉雄一郎執行委員長

よって保護者を亡くした子どもたちに給付を継続する。

また、こらラッセホールにおいて、日教組のシンクタンクである国民教育文化総合研究所(教育総研)の主催で「東日本大震災・原発災害と学校の検証」と題する座談会が開催された。

また、このラッセホールにおいて、日教組のシンクタンクである国民教育文化総合研究所(教育総研)の主催で「東日本大震災・原発災害と学校の検証」と題する座談会が開催された。

また、このラッセホールにおいて、日教組のシンクタンクである国民教育文化総合研究所(教育総研)の主催で「東日本大震災・原発災害と学校の検証」と題する座談会が開催された。



また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。

また、ひょうご防災特別推進員の杉尾須美子さんによる「阪神・淡路大震災の教訓の継承」と題した講話があり、家庭や地域のコミュニティセッションの大切さが触れ、自助・共助の意識が防災に役立つと語った。



「思い出の教室と友だち」
神戸町寺前小学校 六年 小寺 ほか

(こどもの詩と絵 第33集より)

教育・出版貸付

教育・出版貸付は、高等学校以上※のお子様の入学費用・在学費用として利用できます。
※日本国外の学校は対象外です。また、専修学校については、文部科学省が認可し、学校教育法に規定する学校のみとします。

貸付金額

10~100万円 (10万円単位)

入学資金として

合格確定後6カ月以内の合格通知書(写)を添付してお申込みください。

就学資金として

学年が確認できる在学証明書(1カ月以内に取得した原本)を添付してお申込みください。在学中、各学年につき1回申込み可能です。

※就学資金として4月以降に申し込み場合は、新学年の在学証明書を添付してください。

厚生会創立45周年記念
キャンペーン金利
(2月28日締切分まで)

年利 (固定金利) **1.56%**

基準金利
(3月10日締切分から)

年利 (固定金利) **2.01%**

申込締切日	毎月9日	毎月19日	毎月29日
送金日	20日	30日	翌月10日

※締切日送金日が休業日の場合は変更となりますので、「今月のお知らせ(通知)」や厚生会グループ公式サイト「スマイルポート」等でご確認ください。

※3月3回目(3月28日)の締切日は、就学資金としての申込受付はできません。

お問合せ・お申込み先 (一財)兵庫県学校厚生会 業務部 業務1課 または各支部事務所 TEL (078) 331-9974

兵庫の経験をふまえて考える3・11後の教室の課題

座談会

「東日本大震災・原発災害と学校の検証」

1月17日、国民教育文化総合研究所(教育総研)の「東日本大震災と学校資料収集プロジェクトチーム」は、3・11後の各県の教職員組合のとりくみを整理するため、関連調査と座談会(後援:兵教組)をおこなった。

日教組、教育総研、兵教組、および東北三県の各教組(岩手県・岩手高・宮城県・福島県)の代表者が参加した。関連調査として、芦屋市立精道小学校追悼集と、兵教組主催の「追悼の夕べ」(一面参照)に出席し、阪神・淡路大震災後に継続されてきたとりくみへの認識を深めた。

座談会要旨

子どもの被害についての現状報告と今後の課題

◆岩手県教組

津波被災が大きい地域の子どもたちは全国に転出した。児童生徒数が減少し、学校の存続が大きな課題となっている。

◆岩手高教組

生徒数が500人ほどの陸前高田高校では、22人の生徒が死亡・行方不明。うち半分は当日の卒業式後に自宅で被災し、半分は部活動中に市内の屋内施設で亡くなった。卓球部、サッカー部は学校に帰って助かっている。県外に進学している子どもたちが帰りたいような地元にしなければならぬ。

◆宮城県教組

亡くなった子ども327人・行方不明35人。被害の大きかった大川小も含め、個々の学校の被害状況がどうであったのか、どんな状



芦屋市立精道小学校追悼集会

況下で亡くなったのか、きちんと検証するべきである。

◆福島県教組

子どもの被害で大きかったのは、「自分のふるさとに住めなくなった」ということ。そのような子どもたちの健康・安全、学校の再開状況などをきめ細かく見ていかなければならない。

◆岩手高教組

県教委が人事異動を強行し大変混乱した。被災地では震災体験教職員が3割しか残っていない。被害の大きかった石巻支部では、中学生の不登校が増えている。カウンセラーだけでなく教職員も必要だとの声が強い。

◆宮城県教組

くったように感じた。「復興加配」は教科指導加配であるため、学校現場では行事・調査・申請等多くの仕事を加配以外の教職員がしなければならず、仕事分が増えすぎた。

◆岩手高教組

3月18日、県教委は人事を全面凍結した。しかし、教職員からは不満が出なかった。教職員は腹をく

支部だより

豊岡支部 書記長 藤本丈永さん



私が採用されたのは今から13年前。大きな権利はすでに獲得され(もちろん先輩方のおかげである)、当たり前のように

もが避難した学校との「兼務」となる教職員が出た。「子どもの心がすさんでいる。教職員が大変であるので、必要な学校に必要な人数を配置してほしい」と要求している。教職員も精神的にぎりぎりの状態で踏ん張っている。

3・11後の課題 原発災害への対応を

◆岩手県教組

①新校舎への早期移転 ②地域の学校としての存続を第一として、学校統合は慎重に ③放課後の学習支援施設の設置、学童の指導員確保 ④家族を含めた心のケアの充実。

◆岩手高教組

「4月1日異動」はストップしたが、「兼務辞令」によって、自分の学校の子どものケアをする人がいない

②地域コミュニティがずたずたになり、保護者も経済的に苦しい。子どもの力によって地域・町の再生を。舞子高校の実践には大いに学ぶものがある。③精道小学校の追悼式に参加して、語り継ぐこと、風化させないとりくみの重要性を感じた。

◆宮城県教組

①避難所としての学校の役割を整理・確認 ②防災教育と避難のあり方 ③人的措置と子ども・教職員のケアの問題 ④学校の再建。急ぐと「統合」になる ⑤保護者の生活再建。

◆福島県教組

①教員配置・増員・人事異動などにとりくみ、教職員的生活基盤の安定を ②子どものケア、生活指導、生活支援の重要性 ③放射能の影響下で子どもの生活



座談会に参加した県立舞子高校環境防災科の諏訪清

を守らなければならぬ。子どもの安全を守っていくべき県教委が本気で放射能の影響に向き合っていない。子どもの将来について、「子どもが産めない」とか、「産まないように」などと

参加者の感想より

東北のとりくみを直接聞き、震災時の状況やその後の実践に思いをはせた。「無理に出会おうではなく、出合いの場をつくる」。兵庫からも、ともに心を寄せたいと思う。

分会訪問で得た2つのこと

豊岡支部では、5〜6月に分会訪問をおこなった。

三役と執行委員がペアになって、39分会を訪れた。支部定期大会もあったので、過密なスケジュールの中だったが、得るものはたくさんあった。

一つは執行委員の意識が

きないだろうか」という話が出た。その翌日に春季対

接伝えると、機関会議等で

高くなり、組合員一人ひとりの声もよく聞かせることがわかったことである。6

「行く前はあまり気が乗らなかつたけど、行って良かった。講座やワークショップに参加された方からよく聞く。そうなのだ。同じ悩みを共有したり、課題をともに考える我々組合の力で何とかで

できるのが、「兵庫における」学校文化なのである。

我々の組織の力がそんな学校をつくらせていることに誇りをもちながら、これからは子どもと、私たちの笑顔のために、組織のさらなる強化拡大をめざして、できる限りのことをしたい。

ラッセホール

鍋まつり

2014年2月28日(金)まで



寄せ鍋 (うどん又はそば付)

定番

みつせ鶏のしゃぶしゃぶ鍋 (うどん付)

佐賀県のブランド「みつせ鶏」をしゃぶしゃぶにしました。独特の味わいと、特有の食感をぜひご賞味ください。

すき焼き (うどん付)

★その他の鍋料理もご相談くださいませ。

人気 イノブタのしゃぶしゃぶ鍋 (うどん付)

※淡路島 鶴本牧場の「いのぶた」(コールドレン・ポアポーク)使用
きめが細かいコクのある「淡路いのぶた」は「黒豚」と「猪」から生まれた猪肉特有の旨味をもつ新しいお肉です。

新メニュー

各種チャーハイ

生ビール、焼酎、ジュース、ウイスキー、各種チャーハイ、日本酒、ウーロン茶

ご利用は2名様より 前売りチケット お一人様 ¥3,000 (税込) ¥3,500 (当日) お一人様 (税込)

フリードリンク (2時間制) ¥980 (税込) 左記ドリンクと ¥1,480 (税込) ・日本酒 ・ワイン(赤・白)

【ランチ】 11:00~14:00 【ディナー】 17:00~21:00

※レストラン個室は5名様以上で無料

※宴会会場2階の個室は一部にのみあります。

※宴会会場は20名様以上で無料(予約先着順)

★前売りチケットはレストラン又はフロントでご購入ください。

★前売りチケット3枚で鉄板焼「ルーアン」のステーキコースをご利用いただけます。また、金券としてレストランでご利用いただけます。

冬の味覚フェスタ

2014年2月28日(金)まで
【ランチ】 11:00~14:00 【ディナー】 17:00~21:00

和会席

- 前菜…季節の前菜盛り
- 造り…鯛、鮓、あしらす色々
- 炊き合わせ…風呂吹き大根、海老芋、海老芝煮、鉄火味噌、紅葉麩
- 焼き物…鯛の塩焼き
- 揚げ物…海老蓑揚げ
- 酢の物…公魚南蛮漬け
- 御飯…季節の炊き込み御飯、香の物
- 留挽…合わせ味噌仕立て
- 和菓子…抹茶おぼき

洋食コース

- オードブル…スモークチキンとトマトミルフィーユ仕立て
- スープ…本日のシェフお任せスープ
- 肉料理…牛肉の赤ワイン煮 アンドエスポテとブロックリーを添えて
- サラダ…ブチトマトとサラダメランジェ ミートローフを添えて
- デザート…ブチケーキ3種盛り
- パン又はライス、コーヒー

各お一人様 ¥1,980 (税込)

ランチタイムは先着順で5名様以上で個室をご利用いただけます。(予約制)

※記載メニューは食材の入荷状況により、変更場合がございます。

鍋まつり、冬の味覚フェスタの注意事項

※日・祝の営業は18:00までとなります。但しご予約の際は事前にお問い合わせください。

ご予約・お問合せは TEL.078-291-1311

078-291-1117 (代表) FAX.078-291-0333

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8

